

若年技術者育成のためのマネジメント

(東京会場・オンライン同時開催)

プログラム

1. 目的

建設コンサルタントにとって変化の時代を生き抜く上で、組織・業務のマネジメント力は経営の柱である。とりわけ、今、若年技術者的人材育成は重要なテーマである。

テーマの重要性を理解し、人材育成への取り組み方・実務に即した具体的な内容を学ぶ。

一方、若年技術者・一般社員にとっても仕事の社会的重要性、業務遂行時のポイント、成長のための仕事への取り組み方、健全なメンタルヘルスを理解する貴重な内容である。

2. 講 師

① 所属：株式会社技術マネジメント研究所 顧問 塚原忠一

(CE マネジメントオフィス・行政書士塚原オフィス 代表)

② 実績：各地で技術研修の講師を行うとともに「建設技術者のマネジメント」をテーマとして、
地方自治体、建設技術センター、民間企業等において講演活動を行う。

③ 資格：技術士（上下水道部門）、上級土木技術者（マネジメント、交通）、測量士、
1級土木施工管理技士、行政書士

3. 内容 (9:50～16:10)

【9:50～10:50】(60分)

① マネジメントの定義

② 使命と責任 (組織・仕事の社会的価値、組織への貢献と自らの成長)

③ 事業環境 (グローバル化とローカル化、プロジェクトの変化、財政再建、発注機関の要員体制、品質、CIM)

【11:00～12:00】(60分)

④ 戦略・・・強みを生かす (戦略の意味：長篠の戦い、上り兵法・下り楽曲、キャノンの戦略)

⑤ 顧客満足 ※ (顧客にとっての価値、顧客満足 5つのポイント)

昼休憩(60分)

【13:00～14:30】(90分)

⑥ 生産性の向上 ※ (働き方改革、時間をマネジメント、なぜ、工程=コスト=品質、ミス)

⑦ コミュニケーション (1on1、業務管理でコミュニケーション、組織を活かすコミュニケーション)

【14:40～16:10】(90分)

⑧ 人材育成 ※ (惹きつけ・とどまらせ・やる気をもたせる、ビジョン、社員のタイプ、指導・育成上の留意点、メンタルマネジメント、上司がとるべき行動とは)

⑨ 自立型社員を目指して (資格取得のすすめ、自らの成長を責任とみなす技術者、戦略的自己研鑽)

※:グループ討議あり(各 30 分程度)

- ◆ 業務予定などの都合による参加者交代は可能です。
- ◆ この研修会は全国測量設計業協会 C P D 認定講習会 (5 ポイント) です。建設系 C P D 連絡協議会に所属する (一社) 建設コンサルタント協会、(公社) 農業農村工学会等で研修会を受講した旨の申請ができます。
- ◆ この研修会は厚生労働省の人材開発支援助成金対象外です。